

子どもたちがさらに本に親しみ、 もっと行きたくなる図書館づくり



京都府
京都聖母学院小学校 図書館
KYOTO SEIBO GAKUIN ELEMENTARY SCHOOL

2013年に創立90年となる京都聖母学院小学校は、カトリック校としての建学の精神を基盤にした教育を進めている。豊かな心をはぐくみ、将来に役立つ確かな学力、たくましく生きるための健康と体力を身につけた児童を育て、自主性と創造性をもって生涯学び続けることのできる人間の育成をめざしている。教育の一環として読書活動を重視しており、さらに充実するために図書館を改修し、2012年2月にオープンとなった。

読書で培われる言語力・判断力は、 学びとコミュニケーションの大切な礎。

INTERVIEW



京都聖母学院小学校
校長
新井 真幸 氏

言語力をしっかり固め、 コミュニケーション力を養成。

本校では、どんな場合にも対応できるように、自分の考えや判断力をしっかり身につけた人間を育てたいと考えています。授業では、ただ多くの知識を身につけるだけでなく、よく考え自分のものとして理解してほしいし、コミュニケーション力を身につけてもらいたいのです。そのすべての学びと力の礎になるのが“言語力”です。言語力は、国語の学習でももちろんですが、たとえば算数でも、文章題の意味を理解して何を求められているのかを正確に見極めるうえで必要となります。自らの持てる知識を融合させて考え判断する際にも、言語力は不可欠です。たくさん本を読み、さらに自分の考えを発信したり人の意見を理解するためのコミュニケーションを通して、言語力はますます培われるものであると考えています。

子どもたちを夢中にさせる、 図書館のさまざまな取り組み。

言語力を身につける学びの一環として、本校では読書に力を入れており、春と秋に読書週間のとり組みを行っています。先生方全員による読み聞かせ会や推薦本の紹介をするなど、以前から積極的な読書活動を続けてきました。大型紙芝居の製作や上演を行う保護者の図書館ボランティア活動もあり、子どもたちに人気です。2003年にはこれらの活動が認められ、「全国子どもの読書活動優秀実践校」として文部科学大臣賞をいただきました。同窓会や保護者会からの支援と協力、そして学校司書の力量に依るところも大きいと思います。司書の創意工夫には、私自身いつも驚かされます。飾りつけの名人で、子どもたちを惹きつけるための楽しい工夫がいっぱいです。改修後はますますはずみがついて、活気あふれる図書館へと生まれ変わっています。



改修前

書架の斜め配置とカーブしたカウンターの効果により、子どもたちを自然に呼び込むように工夫している。

いつ、どんなときに来ても楽しい 京都聖母学院小学校らしい図書館です。

INTERVIEW

京都聖母学院小学校
図書館 学校司書
小林 真矢 氏



思わず本を手に取りたくなる湾曲書架。



保護者会から贈られた手づくりの「ちびまる子」は新しい図書館でも、子どもたちを見守っています。

施設のリニューアルに留まらない、 ますます“行きたくなる”図書館へ。

今回の改修は、単なる施設のリニューアルに留まらず、子どもたちがもっと「行きたい!」と思う図書館に変わったことに驚いており、大成功であったと感謝しています。改修に当たっては、学院内にある中・高の学校司書教諭からの紹介で、学校図書館や公共図書館の建設・改修に実績がある平湯文夫先生に監修を依頼しました。私たちがつくりたかったのは、ただおしゃれで便利だけでなく、あたたかみと子どもたちの使いやすさを重視した“京都聖母学院小学校らしい”図書館でした。すべてを新しくするのではなく、同窓会や保護者会から提供されて子どもたちが大切にしてきた古い家具も使いたいとお願ひしました。そうしたら新品のようにきれいにクリーニングされ、今も生かされていることに満足しています。図書館の活性化においては、設備・運営する人・利用する人の三者がバランス

良く整っていることがとても重要だと考えています。改修後の現在、本校の場合は三者がとても上手く機能しており、いつも子どもたちであふれるような図書館になり、利用にもはずみがついてきています。子どもたちは、ますます図書館の魅力に夢中になっています。



秋の読書週間では、聖母タイムに担任以外の先生がお話に来てくれます。どの先生かは、チャイムが鳴ってからの楽しみ!



秋の読書週間に行う保護者ボランティアのお話会では、手作りの大型紙芝居やパネルシアターなどの上演があります。



春の読書週間には、5年生の図書委員が、図書館利用のPRを兼ねて1年生の教室に読み聞かせに行きます。



カウンター奥が楽しい本を配架した「おたのしみのコーナー」です。



各教室に学級文庫があり、子どもたちは空き時間に本を取り出し読書します。

調べ学習で使う机は、大きな資料を広げるため、これくらいの大きさが必要です。閲覧用のイスは保護者会からの寄贈品で、改修前から引き続き使われています。

大きく変わったのは出入り口です。以前は廊下の途中にありましたが、今回の改修で廊下の突き当たりになりました。扉は両開きで、大きなガラス窓から明るく楽しい館内が見えて、より入りやすくなっています。扉には校章にあるエルミン*のシルエットがくりぬかれていて、子どもたちからは、「教室の扉もこれがいい!」といわれるほど好評です。見通せる館内は、参考図書コーナーが設けられ落ち着いて学習に取り組める「調べ学習のコーナー」、絵本を中心に構成した読み聞かせもできる「おはなしのへや」、文庫、学習まんが、なぞなぞなどの楽しい本を配架した「おたのしみのコーナー」と大きく3つのエリアに分かれています。

改修以前からさまざまな季節ごとのイベントを実施してきましたが、改修後はさらにそれが効果的に行えています。たとえば、子どもたちが進んで参加した「しおりコンテスト」や、展示台につくった“おすすめの木”に自分が紹介したい本を葉っぱ型のカードに書き貼りつけていく企画など。“おすすめの木”は、葉っぱが沢山あつまって最終的にジャングルになりました。また、壁などの基調色は改修前は水色でしたが、今回の改修で淡いピンクとなり、明るくぬくもりのある、京都聖母学院小学校らしい館内になっています。

*フランスの小動物で、“百合の花”ともいわれ、純潔の象徴として使われている。



すっかり変わって、図書館のあたたかい雰囲気や部屋の外に伝わってくる入口になりました。



改修前の入口部分



入口横の大きな掲示板に貼られた「しおりコンテスト」の応募。



改修前

壁面の書架は改修前から使っていたものです。中置書架は新しく平湯モデルの低い書架を使うことで子どもたちにとって見通しの良い開放感のある図書館になりました。



6月の展示テーマは“梅雨”。写真右には、聖母学院の歴史について書かれた本も配架されている「神さまの本のコーナー」。



子どもたちの心をつかむ多種多様な演出。



みんな仲よく、本に集中している子どもたち。



展示台につかった“おすすめの本”



必ず図書館によって本を借りてから帰る、そんな子どもたちで放課後も図書館はいっぱい。



書架の隣にあるスツールはひとりでゆっくり読めるようになっています。



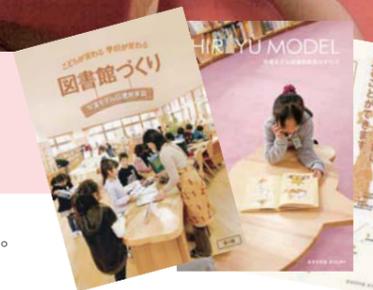
平湯文夫先生へ宛てられたお手紙の冊子。新しくなった図書館に対する子どもたちの素直な感謝の気持ちが書かれています。

貸出カードはカウンターにあります。授業内での貸出し時は混雑を避けるため、カウンター横の丸テーブルに貸出カードを置いています。



● 平湯モデルで実現する ●
子どもと学校が変わる 図書館づくり

平湯モデルとは、家具づくりと部屋づくりで図書館の利用を促すように演出することです。これまでに導入された図書館は、利用者で溢れ、一人あたりの貸出冊数など、どこも全国トップクラスの実績を上げています。利用者の目線で考えられた使いやすく、親しみのある図書館。子どもも学校も、町も変わる図書館です。



axonaAICHIIは、図書館に平湯モデルを推奨し、子どもたちの『生きる力』を究めています。お問い合わせ先:学習環境デザインプロジェクト TEL 052-937-5933

CONTENTS	CULTURAL SPACE QUEST	GALLERY	THE TOPICS
	次代へ向かう、新たな学びの出発点	12 本法寺	子どもたちがさらに本に親しみ、もっと行きたくなる図書館づくり
	01 愛知大学 名古屋キャンパス 07 東京電機大学 東京千住キャンパス	13 学校法人岩崎学園 横浜デジタルアート専門学校 新横浜3号館 15 駒澤大学 駒沢キャンパス 16 三幸学園 大阪ウェディング&ブライダル専門学校 17 早稲田大学本庄高等学院 95号館 19 愛媛県医師会館 21 最高裁判所	22 京都聖母学院小学校 図書館
	CULTURAL FILE		
	11 最新・教育事情 「アクティブラーニング」第2回		

axona AICHI 愛知株式会社 AICHI CO.,LTD. 27-25,Tsutsui 3-chome,Higashi-ku,Nagoya,Japan. Tel.Nagoya(052)937-5933 Fax:Nagoya(052)937-7146 http://www.axona-aichi.com

本社	TEL: 052-937-5931	F461-0003	名古屋市東区筒井 3-27-25
営業本部	TEL: 052-937-5933	F461-0003	名古屋市東区筒井 3-27-25
東京営業部	TEL: 03-6222-0816	F104-0033	東京都中央区新川 1-17-25 (東茅場町有楽ビル 1F)
名古屋営業部	TEL: 052-935-6226	F461-0003	名古屋市東区筒井 3-27-25
大阪営業部	TEL: 06-6380-0601	F564-0063	吹田市江坂町 1-12-28 (大興ビル 4F)
札幌営業所	TEL: 011-222-4531	F060-0033	札幌市中央区北 3 条東 3-1-35 (近海ビル 3F)
仙台支店	TEL: 022-221-0855	F984-0806	仙台市若林区舟丁 16 (小林ビル 4F)
京都営業所	TEL: 075-642-0755	F612-0029	京都市伏見区深草西浦町 1-18 (名神第一ビル 2F)
中・四国営業所	TEL: 086-296-9040	F701-0221	岡山市南区藤田 651-18-1 102 号
福岡支店	TEL: 092-441-1246	F812-0016	福岡市博多区博多駅前 4-17-32
春日井工場	TEL: 0568-31-6111	F486-0918	愛知県春日井市如意申町 5-8-7

●お問い合わせは